

◆ 文学散歩 ◆

◇ 葉祥明美術館 企画展示「くまモンとブルービーのなかまたち」絵本原画展◇

◇ 鎌倉文学館 常設展「鎌倉ゆかりの文学」・特別展「たかどのほうこの世界」◇

報告 英語英米文学科1年 中村好花

夏真っ盛りの8月3日、毎年夏休みに行っている読プロのイベント、文学散歩に参加させていただきました。今回は葉祥明美術館と鎌倉文学館を見学するため、私たちは鎌倉を訪れました。8月にしては涼しく、とても心地よい気候の中、多くの有名な文学者のゆかりの地である鎌倉を散策しました。

はじめに訪れたのは、北鎌倉駅のすぐ近くにある葉祥明美術館です。緑に囲まれたおしゃれな洋館で、まるで絵本に入り込んだような美しい雰囲気建物でした。葉祥明さんは熊本出身の絵本作家・画家・詩人で、絵本を通して地雷問題を訴えていらっしゃいます。柔らかく、優しいタッチで描かれた作品を見ていると、不思議と心が落ち着く感じがしました。博物館の中では自由に葉祥明さんの描かれた絵本を読むことができ、またミュージアムショップでは気に入った本やポストカードを購入したりしました。

次に訪れたのは、鎌倉文学館です。今回は常設展の「鎌倉ゆかりの文学」と共に、特別展示の「たかどのほうこの世界」を見学させていただきました。絵本作家として有名なたかどのほうこさんの代表作、『まあちゃんのながいかみ』をはじめ、数々の貴重な原画などを見ることができました。

そのほかにも、メンバーで一緒にご飯を食べたり、鎌倉駅近くの小町通りでお土産を買ったりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。鎌倉の文学の雰囲気に触れつつ、学年をこえて読プロメンバーの中を深めることができたので、今回参加することができて本当に良かったです。



美味しいぜんざいで一休み♪



鎌倉文学館 庭園にて